



2023年 8月 6日  
第11号

JR 東労組   
*Yokohama*

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp>



# 原爆投下から78年の広島

1945年8月6日、米軍による原子力爆弾が広島に投下され今年で78年が過ぎました。原爆により一瞬で広島の街は破壊され多くの方が犠牲になり、被ばくによって人体の影響に今もなお苦しめられている皆さんを忘れてはなりません。

6月の広島サミットで、被爆の実相に触れたG7首脳は「世界が核戦力強化」「核軍縮の最終的廃絶」の2つの分かれ道から「核軍縮の最終的廃絶」を選びました。何を思い何をもって芳名録に決意を記したのか、極めて歴史的であり重いものです。

一方、ロシアのウクライナ侵攻から1年半が経とうとしている今も、解決の兆しも見えないばかりか核兵器の使用が一気に現実味を帯びてきています。

2017年7月に国連で採択された「核兵器禁止条約」に、日本は未だに批准していません。5年たっても核兵器禁止条約に言及しない日本政府の消極的姿勢は変わっていません。積極的に核兵器禁止条約の締約国になること、11月の締約国会議にオブザーバーとして参加すること、唯一の原爆被爆国・日本がまずやることではないでしょうか。

核兵器では何も解決しません。テロにも戦争にも反対、被害者にも加害者にもならないため、日本が世界に誇れる「憲法9条（戦争の放棄）」の重みを受け止めて行動していきましょう！



**原爆の悲惨さ、恐ろしさを学んだ私たちが  
恒久平和であり続けるために何が出来るか考えよう！**